

彙 報

本会記事

西南アジア研究会総会

2012年度総会は、先の会告のごとく、2012年12月15日午後2時から、京都大学文学研究科・文学部新館第1講義室において開催された。

前川和也会長の開会の挨拶に続いて、新谷英治氏を議長に選出し、議事に入った。まず久保一之委員から、会誌発行状況、会員数、会計等の会務についての報告が行われ、ついで、会計業務について、総会開催以前に堀川徹監事（当日は欠席）の監査を受け承認されている旨報告された。さらに、前川会長より、本年8月から宮崎泉氏を編集委員に加えたことが報告された。その後、近年の会員数減少の対策について話し合われた。

総会議事の後、京都大学大学院文学研究科教授 泉拓良氏に「フェニキアとは何か —— 古代テュロス郊外の遺跡調査から見たもの ——」と題してご講演いただき、最後に井谷鋼造委員の閉会の挨拶をもって終了した。

会費納入のお願い

本誌第77号発送時に2012年度会費（第77-78号相当分）および滞納金をご請求申し上げたところ、多くの方からご協力が得られました。誠に有り難く存じ上げます。

しかしながら、いまだご入金いただいていない会員の方も、少なくありません。第77号発送時にご通知した、会費納入状況をご確認の上、早々にお支払いいただけるようお願い申し上げます。

ご投稿のお願い

より充実した誌面をお届けできますよう、会員の皆様の活発なご投稿をお待ち申し上げます。論文、研究ノートや書評に限らず、研究動向・学界動向その他、有益な各種情報もお寄せ下さいますようお願い申し上げます。投稿規程は本誌第76号末尾に最新版を掲載してありますので、原稿作成の際ご参照下さるようお願い致します。